

令和4年度 学校評価報告書

園 名 広 野 幼 稚 園

1 教育目標

『笑顔いっぱい広野っ子』

- 心身ともに健康で明るく元気な子
- よく考え、工夫して遊ぶ子
- 自分の思いをのびのびと表現する子
- やさしく、思いやりのある子

2 重点目標

『笑顔いっぱい広野っ子』

～「楽しい」「もっとやりたい」の思いを支え、
幼児の自己肯定感を育むための援助のあり方を
探る～

3 自己評価結果

分野 領域	評価項目	幼稚園の取組状況・ 改善の方策	4 学校関係者評価
教育 課程	身近な環境に主体的にかかわり、学びに向かう力を豊かに育む保育内容の充実	幼児の自己肯定感を育てることを教師間、保護者とも共通理解して取り組みを進めた。今後も様々な人とかかわる経験を重ねながら、幼児の主体性を支えていきたい。	子どもが考えたりやってみようとしていたりすることで、大きな自信に繋がっている。今後も、子ども達の主体性を大切に存分に楽しむ保育内容を期待したい。
	しなやかな心や体を育む取り組みの工夫	「わくわく体操」や芝生園庭での遊びを通して、体を動かして遊ぶ心地よさや挑戦する意欲等を育むことが出来た。	意欲的に取り組むことが増え、出来るようになったことが自信に繋がっている。親子でわくわく体操や触れ合い遊びをする機会があり良かった。
子育て 支援	親子の触れ合いや仲間づくりの場としての役割や機能の工夫	年間継続した実施により子ども・保護者双方のつながりを作ることが出来た。園保護者に対する子育て支援内容等も充実させていきたい。	子育ての手助けになるような工夫を行っていただきたい。預かり保育では、保育活動とは違う経験が出来ることは良いと思う。
保護者 地域 住民 との 連携	園運営や園行事への保護者や地域住民の参画の促進	園の取り組みについて、タイムリーに伝える工夫を行った結果、より関心をもってかかわっていただけた。地域住民と連携した活動は、今後もつながりを深めていきたい。	保護者が園の子ども達一人一人を温かく包んでいる雰囲気を感じた。地域で園の活動の話題を聞く機会があり、互惠性のある関わりが出来ていると感じる。
保幼 小中 連携	保幼小中連携の推進と小学校との円滑な接続の取り組みの推進	小学校への接続を意識し、交流方法等を工夫して行き就学への期待感や憧れを膨らませた。今後も、保護者への取り組み発信や中学校区の教師間の相互理解を図っていきたい。	小学校との連携によって小学校が身近になり、安心して就学を迎えることが出来る。園で育った力が小学校へと引き継がれ発揮されることを期待したい。

5 総合的な評価結果

『笑顔いっぱい広野っ子』を合言葉に、子どもを真ん中に据え、教職員と保護者、地域等が連携しながら取り組みを進めてきた。子どもの主体性を大切に、「自己肯定感や自信」を育てることを目標にあげ、保護者の協力を得ることで園の教育方針への理解と同時に、子どもの育ちに繋がっていると感じている。

また、地域住民とのかかわりや子育て支援等、回数を重ねるごとにつながりが深まった。今後も、充実した取り組みができるよう努めていきたい。

6 総合的な学校関係者評価

評価アンケートの結果からは、どの評価も高評価が得られており、園の教育方針が保護者によく理解されていることがわかる。現代社会においても重要視されている「自己肯定感」を育てる取り組みを進められていることは大変評価できる。幼児期に育まれた自己肯定感や自信が基盤となり、小学校以降に生かされることを期待したい。コロナ禍が緩和され、様々な活動が制限なく行われ、子ども達の心と体が豊かに育まれることを願いたい。